

## 2023年度 二チキッズMM新高島保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月13日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいきり遊ぶ、おもいきりぶ」の保育理念に則り、子どもたちが周囲の大人や子どもから認められ、自己を十分に発揮できる保育園作りに力を入れた。
子どもの発達援助	異年齢保育を通して、子どもたちはより多様な体験ができています。常に子どもたちの様子を観察し関わりを持つことで、それぞれの発達に応じた保育のねらいや環境設定に取り組んだ。
保護者に対する支援	連絡帳や送迎時に日々の活動の様子や子どもたちの姿を伝え、成長や喜びを共有できるよう努めた。今後、保護者の抱えている子育てにまつわる悩みに寄り添い、保育の専門性を高めるために外部研修に積極的に参加していく。
保育を支える組織的基盤	日々の保育を振り返りながら、園内研修やクラスミーティングを通し、子どもたちの安定、安心の支えになるために必要な事を考えてきた。今後も子どもの最善の利益を守るために、質の向上を目指し、自己研鑽を行っていく。

総評
保育理念に則り、子どもの最善の利益・子ども主体の保育を第一に考え保育に取り組んできた。今年度は昨年度に引き続き絵本の充実を行い、子どもたちが自ら好きな絵本を選び楽しめる環境作りに力を入れたところ、子どもの感性や想像力が育っていると感じている。次年度も絵本を取り入れた保育を大切に、又、職員一人ひとりが自発的に学び、保育の質の向上、また保育園の質の向上へ意識を高め、子どもも保護者も安心して通える保育園作りをして目指していこうと思っている。